

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アートスタートプログラム				シート番号	008-038
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課 評価責任者(課長名)
						辻尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	文化芸術活動の振興	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化芸術基本法・音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律 自由都市堺文化芸術まちづくり条例			
	4	関連計画	自由都市堺文化芸術推進計画			
5	事業実施の経緯	普段の生活の中で経験することの少ない文化芸術活動を通じて、子どもの感性や好奇心を育むとともに、子どもの創造力などを培う機会を提供するため実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input checked="" type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内の未就学児				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	未就学児に、音楽や造形などの多様なアートプログラムを提供し、アートを通じた経験をしてもらうことで、豊かな感性や創造力を育むとともに、アート体験・鑑賞機会の充実を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	次代を担う子どもたちが身近に文化芸術に触れられる機会を提供するため、アーティスト等を派遣し、音楽・粘土・造形体験プログラムを実施する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 公益財団法人堺市文化振興財団					

Ⅲ. 投入量

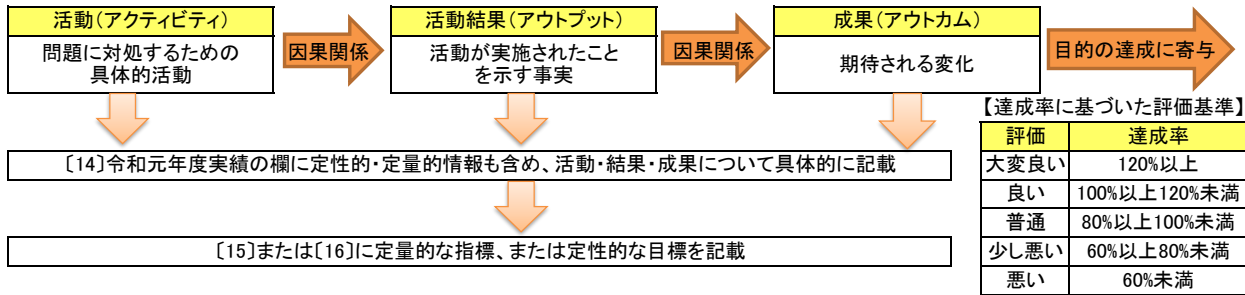
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	0	0	1,138	1,010	2,000	1,462	2,000
主な事業費内訳	体験プログラム実施負担金	千円		1,138	1,010	2,000	1,462	2,000
		千円						
		千円						
		千円						
財源内訳	国・府支出金	千円						
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
	その他()	千円						
一般財源	千円			1,138	1,010	2,000	1,462	2,000
12 人件費 (b)	千円		0	1,640	1,640	1,620	1,620	1,640
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	2,778	2,650	3,620	3,082	3,640

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	アートスタートプログラム	シート番号	008-038
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>アートスタートプログラムは平成30年度からモデル事業として実施しており、アート体験・鑑賞機会の充実だけでなく、プログラムの確立や実施ニーズなどについても調査を行った。 平成30年度は10施設の実施予定に対して42件の応募があり、実施ニーズが多くあることが確認できた。そのため、令和元年度は実施予定校を15校に拡充したが、39件の応募があり、実施できていない施設が多くある。 プログラム評価などから、予算の範囲内において、アート体験・鑑賞機会の充実を図ることができた。</p>					
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		プログラム実施回数	回	目標値	10	15	22
			実績値	12	19		
			達成率	120%	127%		
			評価	大変良い	大変良い		
	算出方法・設定根拠など		予算金額により目標値を設定。				
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		事業実施後、子どもたちに良い影響・変化があった割合	%	目標値	70	80	80
			実績値	78	88		
			達成率	111%	110%		
			評価	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		プログラム体験後に担任の先生に確認。				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	プログラム参加人数	人		559	1,264	
	②	上記①にかかる年間経費	千円		2,650	3,082	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		4,741	2,438	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
		備考(算出についての説明等) プログラムについて、実施施設の意見を反映させながら実施しており、実績値が向上傾向にある。					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		プログラムのニーズが多くあったため、実施目標を達成できたが、すべてのニーズには応えられていない。 施設からのプログラム評価や、子どもたちへの影響などから事業の有用性は高い。

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	アートスタートプログラム	シート番号	008-038
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 行政として未就学児が文化芸術を経験する機会を奪ってしまう。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 未就学の時期に文化芸術に触れる機会の減少。令和2年度までと、実施の機会がなかった年度での格差が生まれる。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 すべての施設ニーズに応えられていないため、実施した施設と実施していない施設での格差があり、実施数を拡充すべき事業である。ただし、プログラムによっては、単価が高いものもあるため、プログラム内容を見直し、単価を削減し、全体としてコスト縮減を図る。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 現在モデル事業として実施しており、実施した施設の意見を反映させたプログラムを展開しているため。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(事業統合)	理由・説明	事業の趣旨目的から、令和3年度に「さかいミーツアート事業」と事業統合予定。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	従来のプログラム手法に加え、モデル事業のノウハウを生かし、希望する施設の担当者がプログラムを行うことにより、実施回数や参加人数を増やしていく。		